小児科（海南病院・一宮市立市民病院）

【一般目標（GIO）】

周生期から思春期にいたる成長発達を、家族や学校などの周囲とのかかわりの中で全人的に理解し、小児疾患の基本的な能力を身につける

【行動目標（SBO s ）】

① 発達段階に特有な疾患を理解し、診断法や治療法を理解する
② よく見かける急性疾患に対すし、適切な鑑別診断と初期対応ができるようにする
③ 心肺蘇生、人工呼吸器を用いた呼吸管理などの救急処置を習熟する
④ 乳児健診、予防接種など小児保健の重要性を理解する
⑤ 患者家族への説明、指導を適切に行い、良好な関係を築くように努める
⑥ 年齢に応じた薬物の禁忌やリスクを理解し、年齢や体重に基づき処方箋を作成する
⑦ 他科へ適切にコンサルテーションできるようにする
⑧ 患者の全体像を包括的に把握して診察を行うようにする

【研修方略（LS）】

① 病棟、外来での実習研修（On－the－Job　Training：OJT）を行なう
② 指導医・主治医の指導の下、患者の診察や治療計画に参加する
③ 各種検査や手術の見学・介助を行ない、手技の理解や結果の解釈を行なう
④ 各種のカンファレンスに参加する

【研修評価（Ev）】

① 自己評価：救急部門研修修了時に評価表による評価
② 指導医による評価：各科研修修了時に評価表による評価

【代表的経験疾患】

気管支炎・肺炎・化膿性扁桃炎・クループ症候群・管支喘息・ヘルペス口内炎・急性胃腸炎・便秘・周期性嘔吐症・腸重積・急性虫垂炎・熱性けいれん・てんかん・脳性まひ・肥満・精神運動発達遅延・髄膜炎・急性脳炎,脳症・糖尿病・下垂体性低身長・急性糸球体腎炎・特発性血小板減少性紫斑病・ネフローゼ症候群・紫斑病性腎炎・水痘・流行性耳下腺炎・突発性発疹・インフルエンザ・川崎病・アトピー性皮膚炎・食物アレルギー・新生児黄疸

【一宮市立市民病院スケジュール】【小児科】

【一般目標】

小児科全体の診療内容について理解し、特に小児疾患の特異性について把握する。

【行動目標】

（１）小児の全身状態について適切に評価できる。

（２）小児の診療内容の特異性について具体的に理解する。

【研修方法】

（１）オリエンテーション（南館 4B　NICU 病棟、AM8:15、内容：カリキュラムの説明）

（２）受け持ち患者：常時最低 3-4 名の患者を担当する。（小児病棟および新生児集中治療センターで担当医として）

（３）病棟研修：

・病棟全体を把握する。

・具体的に１人１人の患者について診断、治療を学習する。

・治療方針をたて、指導医の確認ののち実行する。

・小児病棟では、慢性疾患（腎疾患、喘息、心身症、心疾患など）及び急性疾患（感染症、痙攣など）を受け持つ。新生児集中治療センターでは、分娩の立会い、新生児搬送を経験し、新生児の蘇生および新生児管理、産科との連携について学習する。

・虐待、心身症などの症例において、患児本人の病状だけでなく、家族などの背景についても考察する。

（４）入院患者カンファレンス：週 2 回のカンファレンス（火；小児病棟、木；新生児集中治療センター）に参加する。

（５）外来担当

・一般外来、特殊外来について理解する。

・乳児健診を体験する（母子手帳を活用し、また地域の保健活動との連携を学習する）。

・予防接種を行う。

・救急外来での小児（とその保護者）への対処法を修得する。

（６）小児における採血などの手技の修得

【1 週間のスケジュール】

	月	火	水	木	金
朝	NICU カンファ	NICU カンファ	NICU カンファ	NICU カンファ	NICU カンファ
午前	外来、病棟回診	外来、病棟回診	外来、病棟回診	外来、病棟回診	外来、病棟回診
午後	ER など	7B 病棟カンファレンス、ER など	ER など	NICU カンファレンス・抄読会、ER など	ER など
夕方				周産期カンファレンス（隔週）	

【評　　価】　　Ａ：十分できる　Ｂ：できる　Ｃ：要努力

チェック項目	研修医	指導医
（１）診察法		
問診、視診、聴打診	Ａ・Ｂ・Ｃ	Ａ・Ｂ・Ｃ
胸部、腹部をはじめ全身の理学所見	Ａ・Ｂ・Ｃ	Ａ・Ｂ・Ｃ
運動機能や発達の評価	Ａ・Ｂ・Ｃ	Ａ・Ｂ・Ｃ
神経学的発達の評価	Ａ・Ｂ・Ｃ	Ａ・Ｂ・Ｃ
（２）基本的臨床検査法		
尿検査	Ａ・Ｂ・Ｃ	Ａ・Ｂ・Ｃ
血液検査	Ａ・Ｂ・Ｃ	Ａ・Ｂ・Ｃ
細菌検査	Ａ・Ｂ・Ｃ	Ａ・Ｂ・Ｃ
生化学検査	Ａ・Ｂ・Ｃ	Ａ・Ｂ・Ｃ
免疫学的検査	Ａ・Ｂ・Ｃ	Ａ・Ｂ・Ｃ
髄液検査	Ａ・Ｂ・Ｃ	Ａ・Ｂ・Ｃ
心電図	Ａ・Ｂ・Ｃ	Ａ・Ｂ・Ｃ
超音波検査	Ａ・Ｂ・Ｃ	Ａ・Ｂ・Ｃ
（３）X 線検査法		
胸部、腹部、レントゲン	Ａ・Ｂ・Ｃ	Ａ・Ｂ・Ｃ
CT 写真（頭部など）	Ａ・Ｂ・Ｃ	Ａ・Ｂ・Ｃ
（４）その他の検査		
MRI	Ａ・Ｂ・Ｃ	Ａ・Ｂ・Ｃ

経験すべき症例　（※印は必ず経験すること）

項　目	研修医	指導医
(1) けいれん性疾患	□	□
※(2) ウイルス感染症（麻疹、流行性耳下腺炎、水痘、突発性発疹、インフルエンザ）	□	□
(3) 細菌感染症	□	□
(4) 小児喘息	□	□
(5) 先天性心疾患	□	□
(6) 悪性腫瘍	□	□
(7) 腎疾患	□	□
(8) 心身症	□	□
(9) アレルギー疾患	□	□
(10) 新生児疾患	□	□
(11) 他科に紹介すべき疾患（虫垂炎、中耳炎など）	□	□

【海南病院スケジュール】【小児科】

【研修目標】

一般目標 GIO：

将来専攻する専門科に関わらず、救急対応や担当患者対応ですべての医師に必要とされる小児科領域のプライマリケアができるようになるために、小児の特性および疾患を理解し（知識領域）、患児および親との良好な関係を築けるように心掛け（態度領域）、基本的な疾患の診断・治療・手技を習得する（技能領域）。

行動目標 SBOs：

1）小児の診察ができる。（技能）
2）小児の問診の特徴を理解している。（解釈）
3）小児の身体および検査値の特徴を理解し、異常の有無を判断できる。（解釈）
4）小児感染症（ウイルス・細菌）の症状を説明できる。（想起）
5）小児の発達の特異性に配慮する。（態度）
6）患児の親に説明できる。（態度）
7）小児感染症に対する治療方針を立案できる。（問題解決）
8）小児喘息の発作時の治療ができる。（問題解決）
9）小児けいれんに対する診断・治療のアプローチができる。（問題解決）
10）以下の処置を自ら実施できる。（技能）
①新生児の足底採血
②乳幼児の採血および輸液ルートの確保
③腰椎穿刺
④導尿
⑤経管栄養チューブの挿入
⑥超音波診断装置の描出技術

【研修方略】

研修期間：1 年次 4 週間、2 年次選択。

研修内容：

１．入院受け持ち業務

一般外来、救急外来から入院する小児科の急性疾患の症例を、常時 5－6 人を限度に中間指導医、部長の 3 人体制で受け持ちをする。

外来の受診を見学し、入院までの流れを理解する。

慣れるにしたがって、小児の慢性疾患の症例を受け持ちとしてお願いする。

NICU 病棟では低出生体重児、病的新生児の入院時の救急処置を見学する。可能であれば採血も行う。病棟当番として帝切分娩の立ち会い、新生児搬送（トランスポート）にも指導

医とともに同行して処置を見学する。

２．病棟業務

診察医の指導の下で問診、診察内容、処置の仕方を学ぶ。同時に小児の輸液ルートの確保を修得する。また新生児、乳幼児、学童、思春期の児の扱いに慣れる。

教育的症例があれば、引き続き研修後も受け持ちになれるように配慮する。

３．病棟回診

必ず朝夕一回は患者診察をすること。指示はなるべく早く出すようにして、緊急・臨時の場合は必ず Nr に声をかけてからオーダーすること。検査・処置は進んでやるようにつとめること。必ず検査・点滴・抗生剤など指導医のもとでオーダーすること。

４．カンファレンス

担当患者のプレセンテーションを行い、治療方針について指導医ともに検討する。

５．抄読会

ローテート研修中に英文雑誌より小児科関連の題材を選択し、発表する。

６．一般外来研修

4 週間ローテートのうち計１週間、初診患者の診察・１ヶ月健診・予防接種を指導医のもと行なう。

週間スケジュール：

	月	火	水	木	金
8時30分	NICU 採血	NICU 採血	NICU 採血	NICU 採血	NICU 採血
午前	病棟回診 検査処置	部長回診 検査処置	病棟回診 検査処置	病棟回診 検査処置	部長回診 検査処置
午後	ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ 病棟回診 検査処置	病棟回診 検査処置 予防接種	病棟回診 検査処置	病棟回診 検査処置 予防接種	病棟回診 検査処置
夕刻	抄読会				

病棟回診は主に小児病棟、検査処置は小児病棟とNICU病棟の両方です。

外来診察につくことがあります。

夜間・休日緊急入院処置の待機当番があります。

【研修評価】

SBOs	領域	目的	方法	測定者	時期
1	技能	形成的	観察記録	指導医	回診時
2	解釈	形成的	観察記録	上級医・指導医	カンファレンス時
3	解釈	形成的	観察記録	上級医・指導医	回診時
4	想起	形成的	口頭試験	指導医	ローテート中
5	態度	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテート中
6	態度	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテート中
7	問題解決	形成的	口頭試験	指導医	ローテート終了時
8	問題解決	形成的	口頭試験	指導医	ローテート終了時
9	問題解決	形成的	口頭試験	指導医	ローテート終了時
10	技能	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテート中